

# 丸山台中学校マニフェスト(中期学校運営計画)

## 計画期間

平成18年12月1日～平成23年3月31日

## 学校教育目標

「まちに生き、自分で自分の生き方を切り拓いていける生徒を育てます」

## 学校経営方針

- (1)生徒、保護者、地域、教職員同士の信頼関係を基盤に、どんな課題も相互の理解と協力によって解決していける学校をめざします
- (2)人権感覚を養い、美しい環境の中で誰もが安心して過ごせる学校、確かな学力と豊かな人間関係を育む教育を推進します。(特別支援教育、環境教育の充実)
- (3)生徒理解を基本としながらも、学校生活の安全や他者の人権を侵す行為を許さない「優しさと厳しさのバランスのとれた生徒指導」をめざします。
- (4)総合学習や生徒会のボランティア活動を通して地域や世界へ視野を広げ、自ら行動できる生徒を育てます。
- (5)さらに開かれた学校をめざし、学校だよりやホームページによる学校情報の発信と、地域との連携、小学校との交流に努めます。

## 指導の重点

- ・日常のふれあいや教育相談の充実
- ・道徳や学級活動、総合を通しての人権感覚の育成、及び特別活動を通しての人間関係づくり
- ・わかりやすい授業、興味関心を深める授業の工夫と、各教科の基礎基本の徹底
- ・地域での体験学習やボランティア活動、小中交流を通じた社会性や自己有用観の育成

## 改善の視点

1.全国的に学校への不信感や不安が高まる風潮の中で、教師と生徒、保護者、地域がしっかりと信頼関係を結び、子どもの成長を支えていくことが必要です。

## 取組目標

日常的な生徒とのふれあいを重視し、相互理解に努めると共に、年間15日の教育相談日を設け、問題の早期発見、早期解決をめざします。

- ・授業参観、懇談会や個人面談、必要に応じての家庭訪問など、学校と保護者が直接話し合い、生徒理解や学校理解を深める場を大切にします。
- ・できるだけ多くの保護者や地域の方が学校に来られるよう、体育祭やオープンスクールを「親父の会」の支援のもと、土日開催とします。

<p>2. コミュニケーション能力が低下し、うまく人間関係を作ることができない生徒が増えています。想像力や思いやりなど豊かな感性を育み、他者と関わる力をつけることが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化を心がけ、生徒たちが清潔で整頓された環境の中で落ち着いた学校生活を送れるよう努めます。</li> <li>    図書ボランティアの協力を受けて、全校一斉の読書活動に取り組み、全ての学習のベースとなる読解力、想像力や豊かな感性を育てます。</li> <li>・今年度図書貸し出し数3,469冊を、19年度は4,000冊をめざします。</li> <li>・新聞記事を題材に、読み比べやパネルディスカッションなどを通して読解力や資料活用能力、表現力などを養います。(総合国語3年)</li> <li>・道徳や学級活動を通して、自分たちの身近にある人権問題(いじめや差別など)について考え、人権感覚を高めます。</li> <li>    グループワークトレーニングにより、人間関係を作るスキルを身につけると共に、級友たちとの信頼関係を育てます。</li> <li>・学級活動や学校行事を充実させ、みんなで協力して物事を成し遂げる体験を通して、感動や達成感、自己有用感、仲間への信頼や友情を深めます。</li> <li>・部活動を通してそれぞれの個性や能力を伸ばすと共に、学年の異なる人間関係を築いて豊かな学校生活ができるよう、全職員で部活動指導にあたります。</li> </ul>
<p>3. 社会や環境の急激な変化に伴い、学習意欲の減少が大きな問題になっています。じっくり粘り強く学習に取り組くもうとする力、自分で学ぼうとする力を育てることが必要です。</p>	<p>学年当初に学習オリエンテーションを実施、各教科の学習方法や家庭学習の仕方について、丁寧に指導します。</p> <p>定期試験前に学習相談を実施、基礎基本の徹底を図ると共に、試験に向かう姿勢や意欲を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数やTT、習熟度別学習など、一人ひとりを伸ばす学習形態を工夫します。(英語・数学・体育・理科など)</li> <li>・選択教科では、補充学習や発展学習など、一人ひとりに応じた学習ができるようにします。</li> </ul> <p>年に2回、授業研究週間を設け、授業参観と相互評価の実施によって「学び合う教師集団」を作り、個々の授業力向上を図ります。</p>
<p>4. 物質的な豊かさと共に、世の中全体が自己中心的な考え方になりがちな傾向があり、学校生活を通して、社会性や規範意識を育てることが大切です。</p>	<p>生徒会の「あい3DAY」(挨拶促進運動)を継続し、挨拶ができる生徒の育成に努めます。</p> <p>丸中ルールブック「新時計塔」を基本として、集団生活のルールやマナーを身につけ、「優しさと厳しさのバランスのとれた生徒指導」によって、のびのびとした中にもけじめのある学校生活をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校朝会や生徒朝会、学年集会を通して、TPOに応じた服装</li> </ul>

	や態度など、集団の一員としての社会性を身に付けられるようにします。
5.ますます「開かれた学校」を推進し「信頼される学校」をめざす必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に学ぶ総合学習として保育体験(3年)や職業体験(2年)、職業インタビュー(1年)、福祉体験学習(1年)を実施し、地域理解や地域の人々との人間関係づくりを深めます。</li> <li>・夏祭りをはじめ敬老会、防災訓練など、地域行事や活動に生徒会ボランティアとして参加する生徒の割合を、平成20年度までに70%にします。</li> <li>・上記地域行事に、全職員が参加する体制を作ります。 小学校との連携を進め、オープンスクールでの授業や部活動体験、音楽交流、出張授業や合同研修を実施します。 小中一環カリキュラム実施に向け、いろいろな立場の教職員交流を図り、相互理解を進めます。</li> <li>・学校だよりの地域配布やホームページを充実させ、学校情報が地域や保護者により正確に伝わるよう努力します。</li> </ul>

人材育成の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任教諭が経験する様々な壁をうまく乗り越えていけるよう、OJTの充実を図ります。</li> <li>・ベテラン教職員がその豊かな指導経験(特に、学級指導や生徒指導)を若手教職員に伝え、その教師としての情熱とスキルをしっかり伝えていけるような研修会を充実させます。</li> <li>・中堅層の教職員に、近い将来各分野でのリーダーとなる自覚と力量アップを図る校内研修を行うと共に、委員会主催の研修を活用し、新しい教育課題への理解を深めます。</li> </ul>
平成19年度の 重点取組項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒理解をより一層深め、問題の早期発見、早期対応ができるよう、また一人ひとりに寄り添う指導ができるよう教育相談を年三回確保し、全ての生徒が担任に相談できる機会を設けます。</li> <li>・落ち着いて学習に取り組む環境や学習に向かう意欲を育てるため、学習オリエンテーションや長期休業中の学習会、定期試験前の学習相談を実施します。</li> <li>・「まちとともに歩む読書活動推進校」として、図書ボランティアさんとの協働をより一層進め、読書環境の整備、全校朝読書や「親子読書会」などの読書活動を実施します。</li> <li>・生徒たちの人間関係力、コミュニケーション力を養うため、GWT(グループワークトレーニング)を取り入れた特別活動を実施します。</li> <li>・小中一貫カリキュラム実施に向けて職員間の共通理解を深めるための合同研修の実施や連携の場を増やします。</li> </ul>
これまでの 取組結果 (18年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の支援委員会での話し合いや職員会議での情報交換によって、特別支援教育や支援の必要な生徒への共通理解が進んだ。それぞれに応じた生活や学習の支援を始めると共に、個別支援学級担任の協力も得ながら、保護者への進路相談など支援体制も作ることができた。生徒たちへの理解については、今後も折にふれて進めていきたい。</li> <li>・合同研修会は、近隣校5年未満の若手教員対象に阿部進氏を講師に招いて実施。年度</li> </ul>

	<p>未で時間がとれず、残念ながら交流を図るまでには至らなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丸中ルールブック「新時計塔」は、服装や持ち物などについての検討を行い、社会の変化や実情に合わせて改訂を行った。教職員の共通理解を図ると共に、各御家庭の御協力をいただきながら、「新時計塔」を軸に気持ちの良い学校生活を創っていきたい。</li> </ul>
<p>地域や 保護者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱コンクールは素晴らしいので、是非これからも続けて欲しい。</li> <li>・先生や生徒たちのボランティアに夏祭りの準備や後かたづけ、敬老会などを手伝ってもらって大変有難い。昨年度から参加してもらっている防災訓練にも中学生の参加者が増えて、いざというときのボランティアへの意識や技能を身につけてくれることは非常に良い。</li> <li>・地域や保護者の図書ボランティアが何年も続いていることは素晴らしい。読書活動の推進は是非やって欲しい。</li> <li>・生徒たちの登下校時の交通マナーが悪くて迷惑している。道を広がって歩かないなどのマナーをしっかり指導して欲しい。</li> </ul>

1 この計画は、横浜市教育委員会の定める「学校版マニフェスト(中期学校運営計画)」として策定したものです。 2 は重点項目